

2026 年 6 月 30 日

ミス・パリ・ビューティ専門学校 名古屋校 学校関係者評価報告書

ミス・パリ・ビューティ専門学校 名古屋校

校長 青山 卓史

学校法人ミスパリ学園 ミス・パリ・ビューティ専門学校 名古屋校学校関係者評価委員会は、2025 年度（令和7年度）自己点検評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 開催日時：2026年6月30日（火） 13：00～15：30

2. 場 所：ミス・パリ・ビューティ専門学校 名古屋校（オンライン）

3. 参加者

学校関係者評価委員

平山 浩篤（学校法人ミスパリ学園理事、評議員）

須賀谷 映子（NPO法人日本スパ・ウェルネス協会 教育委員長）

（学校法人ミスパリ学園評議員）

東 千晶（株式会社シェイプアップハウス 代表取締役 副社長）

越川 治枝（株式会社シェイプアップハウス 教育部 部長）

事務局 青山 卓史（ミス・パリ・ビューティ専門学校 名古屋校 校長）

4. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

（1）学生アンケート結果における改善点

【現状】

本校で理論・技術授業を対象に授業アンケートを実施。結果を分析したうえで授業改善を行った。

・理論授業：全体として 90 点以上を維持したが、一部項目で評価が低下。

・技術授業：授業満足度や技術上達実感など複数項目で評価が向上。

【実施方法】

全在校生を対象とした無記名式。10 項目について 5 段階評価及び自由記述によるコメントを回収。

【実施時期】

2025 年 7 月 3 日（前期）、2026 年 2 月 27 日（後期）

【分析】

〔理論授業〕

理論授業では、学生ごとの理解度や学習ペースの違いが評価に影響したものと分析した。アンケートでは、「授業を早く進めてほしい」という意見と、「もう少しゆっくり進めてほしい」という意見がともに見られたことから、一人ひとりに応じた授業運営が課題であると考えた。そのため、授業内で理解度を確認しながら進行するとともに、理解が早い学生には追加課題、理解に時間を要する学生には補足説明や個別フォローを行うなど、習熟度に応じた授業づくりを進める。また、授業

態度への指導については、授業後の個別面談を継続するとともに、授業中の声掛けや座席配置、巡回方法を見直し、早期に対応できる体制づくりを進めていく。

〔技術授業〕

技術授業では、教職員を対象とした技術チェック制度や講師研修を継続して実施し、教員同士が技術や指導方法について意見交換を行うことで、技術力・指導力の向上を図った。また、学生一人ひとりが成長を実感できる授業づくりを目指し、段階的な技術課題の設定や、できるようになった点を具体的にフィードバックする指導を継続した。その結果、学生の授業への意欲や技術上達の実感、授業満足度の向上につながったものと考えている。

【教育成果の検証】

学生アンケート結果をもとに授業改善や教員研修、技術チェックなどの教育改善を継続して実施した結果、進級率、卒業率、マスター学科への進学者数は向上。学生アンケートだけでなく、教育成果の推移もあわせて検証することで、継続した教育改善の取組が教育成果として表れていることを確認した。

(2) 自己評価点の理由

【向上項目】

・授業内容・指導方法

授業方法や教材の見直し、教員間の授業研究、技術チェック制度を継続し、学生の理解度に応じた授業改善を推進した。

・評価結果による教員面接・指導

学生アンケートや自己評価をもとに面談を実施し、成果と課題を共有しPDCAサイクルを継続。

・資格取得目標の設定および結果検証

資格取得管理を見直し、学生ごとの受験・取得状況を継続管理するとともに、補講や個別指導へ反映する運用を開始した。

【改善項目】

・学生募集計画

前年を上回る成果となったが、来校者数拡大と第一志望率向上を継続課題とした。

・社会貢献活動

地域貢献活動やSDGsへの取組を教育活動として体系化し、積極的な発信を進める。

《委員より》

今後はより一層データに基づいた運営と、業務効率も含めた継続的な改善を期待する。

5. 総括

本年度は、学生アンケートや自己評価を通じて教育活動を振り返り、成果と課題を明確にしたうえで、授業改善や学生支援体制の充実に取り組んだ。その結果、進級率や卒業率など教育成果にも改善が見られた。今後も、成果が得られた取組は継続・発展させるとともに、課題については改善を重ねながら、教職員一同が「改善し続ける姿勢」を大切にし、教育の質の向上と、お客様に必要とされる人材の育成に取り組んでいく。

以上